

平成28年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目

教授

高橋 龍也

| 取組状況 | |
|------|---|
| 教育 | <p>1. 化学 I において 定期的に進度及び教授内容の理解度について確認し、到達目標の達成に努めた。クラス間での理解力の差を調整するため復習時間や授業時間内での演習時間を可能な限り設け、学生自身に自己の理解力の把握を促した。</p> <p>2. 教材研究の成果を授業へ導入 教材研究により赤外分光光度計を用いて、合成した高分子の構造解析及び同定を行い、化学的手法による分析方法の実践教育を行った。</p> |
| 研究 | <p>教材研究を通じて、測定器使用による構造解析方法の授業への導入を行った。本年度は赤外分光光度計を使用する内容を工業化学概論 I にて導入し、研究で培った化学的解析を実践的に行った。この内容は紀要に報告した。(28年度東京都立産業技術高等専門学校紀要 豊島雅幸、高橋龍也共著「ナイロン6, 6-を用いた高分子教育」、77、2017、117。参照)。合わせて、実験手順や操作法等を英語化する方針を関係教員と連携し作成の準備にとりかかった。</p> |
| 社会貢献 | <p>継続して(26年度より)技術相談を受けている「電池及び電極材の開発」について、概ね作成電極の素材混合比並びに放電性能について再現性の確認ができ、製品化へ向けて東京都産業技術センターへの相談も可能となった。主構成材料が活性炭や残物マグネシウム基材という点と長期保管並びに高出力という点から、災害時の非常電力としての運用を主軸に考えている。</p> |